



## 「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第1回)」開催報告

危険物施設における保安設備等への新技術の活用を目的に、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第1回)」を開催し、約50名の方々にご出席いただきました。

### 1 概要

近年、様々な分野で監視カメラ技術、ドローン技術、IoT技術等の新たな技術が活用されています。

今後、危険物施設においても、これらの新技術を活用した保安設備等の導入や普及が見込まれることから、人の目に替わる点検手段、データを用いた危険予兆など、大規模危険物施設等における維持管理や災害早期発見についての方策として、これらの新技術を活用した保安設備等について、貴重な御意見、提言などをいただきました。

### 2 開催日等

- (1) 日時：令和元年6月18日(火) 13時から15時まで
- (2) 場所：危険物保安技術協会 大会議室

### 3 出席者

- (1) 行政機関(消防庁危険物保安室、消防庁特殊災害室、消防庁消防研究センター、横浜市消防局、川崎市消防局、四日市市消防本部、堺市消防局)
- (2) 事業所等(石油連盟、石油化学工業協会(三菱ケミカル株式会社、J S R株式会社)、一般社団法人日本化学工業協会(花王株式会社)、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、北海道石油共同備蓄株式会社、日本メンテナンス工業会、一般社団法人非破壊検査工業会(日本工業検査株式会社))
- (3) その他、新技術開発メーカー

### 4 内容(ドローンを使用した屋外タンク貯蔵所の側板板厚測定等について)

- (1) 発表
  - ア タンクの側板の板厚を測定可能なUTドローンの紹介
  - イ 海外におけるUTドローンの導入の事例紹介
- (2) 意見交換
  - ア ドローンへの要望
    - (ア) 行政機関
      - ・危険区域での飛行を考慮し、防爆型を望む。
      - ・落下した場合における影響を海外の状況とともに、提示して欲しい。
    - (イ) 事業所等
      - ・定点での測定ができることを望む。
      - ・点では無く、面での測定を希望するところが多いので、ピッチ幅の縮小又は連続測定が可能となることを望む。
      - ・測定した値の確からしさについて、証明が必要と考える。
      - ・測定前に行う、さび取りの精度を示して欲しい。
  - イ 各団体におけるドローン活用への取り組み状況

(ア) 行政機関

- ・管内の事業所において、飛行実験を行い、災害時での活用等を検討している。

(イ) 事業所等

- ・ドローンのオペレーターを養成し、省庁と連携して研究会を催している。

## 5 実施状況



研究会風景

## 6 次回開催予定

- (1) 日時：令和元年8月27日（火） 14時から16時まで
- (2) 場所：危険物保安技術協会 大会議室
- (3) 内容：千代田化工建設株式会社による  
「3D保安高度化データプラットフォームとバーチャルプラント」

問い合わせ先  
危険物保安技術協会  
企画部企画課 中村  
電話 03-3436-2353  
FAX 03-3436-2251